

平成24年度

自動車用品小売業協会決算報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年度事業報告について

【平成24年度APARAのテーマ】

「競争と協調」

APARA会員企業数も減少し、業界を取り巻く環境も大きく変化しております。

平成24年度は「行政への提言、規制に対する共通の対応」を行いつつ、業界団体として消費者へ「楽しく安全な車社会」の提案や啓発活動を行ってまいりました。

1、組織活動

- (1) 会員企業の募集は継続いたしましたが、入会は正会員0社、賛助会員1社、退会は正会員1社、賛助会員0社となりました。
- (2) 一般ユーザーに対して「楽しく安全な車社会」啓発広告を行いました。
- (3) 関係省庁・有効団体への会合に参加し情報共有を行いました。

2、勉強会の実施

- ① 「総務省 違法電波に関する勉強会」を総務省を招いておこないました。
- ② 「今後の高速道路政策の方向性」
- ③ 「自動車産業令関係、②労務関係、③整備関係、④商品関係の4つを軸に協会企画の勉強会を企画、開催する。

3、環境への取り組み

環境問題が取立たされている現在の社会情勢を踏まえて、企業の在り方や企業責任について取り組み情報などを共有します。

4、タスク活動について

- (1) コンプライアンスタスク
 - ・社会の要望に基づき現行の法令について勉強会を企画し、会員社に情報提供と協会見解の統一を図る
 - ・法令の解釈、罰則規定、実務面の運用などを中心に行う。
- (2) 環境タスク
 - ・電力エネルギー削減の事例を交えて勉強会を実施する
 - ・環境配慮型商品の取り扱いをPRする
 - ・商品パッケージ・下取りについて勉強会を実施する
 - ・ユーザーへの告知活動をおこなう
- (3) 廃棄物関連タスク
 - ・全国優良産業廃棄物企業の情報や、廃タイヤ処理・バッテリーの取り扱いなど、情報交換をする。また実際の業者視察なども行なう。
- (4) カーライフ提唱タスク
 - ・ユーザー向けに「正しい商品の使い方」等、啓蒙啓発していく。
- (5) 防犯タスク

- ・夜間侵入について情報交換と対策マニュアル作成
- (6) 流通効率検討タスク
- ・バーコード、商品パッケージの記載内容、リサイクル等の討議する

*PIT・安全タスク

- ・定例タスクではなく、必要に応じて、開催し、メンバーは都度決定する。
- ・PIT作業者の事故防止の安全対策やメンテナンス・作業情報や勉強会、また次世代自動車関連について企画立案をする。
- ・PITサービスの在り方について根拠となる情報や条件を集約する。

【平成24年度の活動】

4月

4月6日	A P A R Aジュニアボード
4月10日	自動車部品用品連絡会
4月14日～15日	自動車会議所 アクション2012
4月17日	A A A L海外視察打ち合わせ
4月26日	A A A L海外視察打ち合わせ

5月

5月10日	A A A L代表者会議
5月11日	A P A R Aカーライフ提唱タスク
5月16日	国土交通省訪問
5月22日	A P A R Aコンプライアンスタスク I A A E会議
5月23日	会員社訪問・意見収集
5月24日	日本自動車部品工業会 総会 日本オートケミカル工業会 総会 日本自動車機械器具工業会 総会
5月25日	A P A R A理事会・総会 日本自動車部品協会 総会
5月28日	全日本自動車部品卸商共同組合 総会 タイヤ公正取引協議会 総会

6月

6月1日	全国自動車部品販売店連合会 総会
6月8日	A P A R A流通効率検討タスク
6月11日	全国万引犯罪防止機構 理事会・総会 全国石油工業協同組合 訪問
6月12日	自動車部品用品連絡会 A A A L海外視察打ち合わせ
6月13日	日本自動車会議所 総会

	カー旅機構 総会
6月14日	AAAL海外視察打ち合わせ
6月15日	APARA環境タスク
6月19日	自動車検査独立行政法人 会議
6月21日	AAAL海外視察打ち合わせ
6月22日	APARA廃棄物関連タスク
6月28日	東京万引防止官民合同会議 チャイナオートサロン出展説明会
7月	
7月2日	AAAL海外視察打ち合わせ
7月3日	AAAL幹部会
7月4日	APARAジュニアボード
7月5日	AAAL海外視察打ち合わせ
7月9日	カー旅機構 会議
7月11日	AAAL活性化委員会
7月13日	APARAカーライフ提唱タスク 日刊自動車新聞 用品大賞 2012
7月17日	AAALコンプライアンス委員会 第1回自動車点検整備推進協議会
7月18日	AAAL海外視察打ち合わせ 日本自動車会議所 会員研修
7月19日	AAAL代表者会議
7月24日	会員社訪問・意見収集
7月25日	万引き追放サマーキャンペーン
7月26日	APARA工場視察 事前打ち合わせ
7月30日	国際オートアフターマーケット EXPO2012 実行委員会
7月31日	国土交通省訪問 AAAL海外視察打ち合わせ
8月	
8月7日	APARA工場視察事前下見 AAAL洗車の日分科会 AAAL幹部会 AAAL海外視察分科会 AAALスポーティングパーツ分科会
8月10日	IAAE会議
8月20日	AAAL海外視察打ち合わせ
8月21日	自動車検査独立行政法人 店舗調査
8月23日	AAAL海外視察打ち合わせ
8月27日	自動車検査独立行政法人 店舗調査
8月31日	APARAジュニアボード

9月

9月3日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
9月7日 APARAコンプライアンスタスク
9月11日 AAAL洗車の日分科会
AAAL海外視察分科会
AAAL活性化委員会
9月12日～13日 APARA廃棄物関連タスク 工場視察
9月14日 エコプロダクツ説明会
9月18日 日本自動車会議所 会員研修
9月20日 AAAL代表者会議
9月21日 AAALスポーティングパーツ分科会
9月24日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
9月25日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
9月27日 APARA環境タスク

10月

10月1日 AAAL海外視察打ち合わせ
自動車点検整備推進協議会
10月3日 AAAL洗車の日分科会
10月5日 カー旅機構 活動報告会打ち合わせ
10月9日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
10月11日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
10月12日 APARA防犯タスク
10月15日 自動車検査独立行政法人 店舗調査
10月16日 南房総市 活動報告会打ち合わせ
10月18日 AAAL海外視察打ち合わせ
10月19日 カー旅機構 活動報告会打ち合わせ
10月22日 AAAL洗車の日分科会
10月26日 APARA理事会・活動報告会
10月30日～11月5日 AAAL海外視察 SEMAツアー

11月

11月6日 万引き防止シンポジウム
11月9日 APARAコンプライアンスタスク
AAAL海外視察打ち合わせ
11月16日 APARAカーライフ提唱タスク
11月20日 総務省 違法電波に関する会議
11月21日 AAAL洗車の日分科会
11月28日 公正取引委員会
11月29日 AAAL海外視察打ち合わせ

12月

12月1日～12月8日 AAAL海外視察 ESSENツアー

12月11日	自動車部品用品連絡会
12月13日～12月15日	エコプロダクト2012
12月14日	AAAALスポーティングパーツ分科会 AAAAL活性化委員会
12月20日	AAAAL代表者会議
12月21日	小売業主要8団体安全健康懇談会
1月	
1月11日	東京オートサロン
1月25日	AAAAL幹部会
1月28日	国土交通省訪問
1月29日	全国万引防止協議会 経済産業省訪問
1月30日	会員社訪問・意見収集
1月31日	全国万引犯罪防止機構 理事会・総会
2月	
2月4日	会員社訪問・意見収集
2月6日	自動車税制改革フォーラム会議
2月7日	自動車検査独立行政法人 打ち合わせ
2月9日	大阪オートメッセ
2月12日	自動車部品用品連絡会 経済産業省訪問
2月14日	会員社訪問・意見収集 全国自動車用品工業会 総会
2月15日	AAAAL洗車の日 説明会 タイヤ騒音規制検討会
2月18日	AAAALスポーティングパーツ分科会 AAAAL活性化委員会
2月20日	特定商取引法の一部改正に関する説明会
2月22日	日本自動車販売協会連合会 総会
2月25日	APARAコンプライアンスタスク 自動車検査独立行政法人 会議 全国二輪車用品連合会 総会
2月27日	NAPAC勉強会
3月	
3月5日	自動車政策会議
3月8日	AAAAL海外視察打ち合わせ
3月13日	スマートシティ創造で実現する被災地復興と都市・地域の活性化研修会
3月14日	AAAAL代表者会議 IAAE会議

3月15日	APARAジュニアボード
3月19日	自動車点検整備推進協議会
3月21日	APARA理事会
3月25日	税制委員会
3月27日	税制委員会

【平成24年度APARAタスク活動】

ジュニアボード

今期の方針:事業計画に基づき、協会活動の方向性と実施にあたり具体的な検討をおこなう。

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	取締役	木村 義美
メンバー	株式会社 オートアールズ	経営企画部グループマネージャー	鈴木 順一
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	取締役 専務執行役員	森本 弘徳
メンバー	株式会社 タクティー	取締役	杉山 正司
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	チェーン運営本部長	口分田 浩志

日程	主な議題	出席者	会場
2012/4/6 (金)	理事会報告事項1 1)APARA第5期にむけて ①活動テーマについて ②会議体と会議スケジュールについて ③予算について ④役員の改選について 2)第15回定時総会について ①総会議題とスケジュール ②総会時の応援依頼 ③総会時の展示物について 3)平成23年収支報告について 報告事項2 1)AAAL海外視察について 2)その他	6名	APARA 事務局
2012/7/4 (水)	・各タスクの報告 ・AAAL活動報告と協力依頼 ・洗車の日結果報告と発表について ・今期海外視察参加の依頼 ・日刊自動車用品大賞に関して	10名	APARA 事務局
2012/8/31 (金)	・エコプロダクト2012について ・店舗調査報告	7名	APARA 事務局

	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体として、数字の保管 ・APARA/AAAL活動報告 ・その他 		
2013/3/15 (金)	・平成 25 年度総会に向けて		APARA 事務局

コンプライアンスタスク

今期の方針:カー用品業界の永続的発展を目指す為に、狭義のコンプライアンス(法令遵守)にとらわれず、
広義のコンプライアンス(社会の要望・要請に応える)を主眼に置いた活動を実践する。

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	人事総務部 法務課 課長	岡野 泰士
メンバー	株式会社 オートアールズ	販売部 部長	小野里 佳一
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	コンプライアンス部 課長	小野 稔
メンバー	株式会社 タクティー	ジェームス事業企画部	後藤 健夫
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	企画・管理統括本部 担当部長	野本 正夫

日程	主な議題	出席者	会場
2012/5/22 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・今期のタスクメンバー紹介 ・今期の活動計画及びスケジュールの検討 ・その他 (コンプライアンスに関する情報交換など) 	6名	APARA 事務局
2012/9/7 (金)	・APARA共通法令チェックリスト作成について	6名	APARA 事務局
2012/11/9 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・秘密保持契約案について ・自動車検査法人による店舗立ち合い調査 中間報告 	9名	APARA 事務局

【主な予定制作物】

検査法人による店舗調査終了後、商品販売時の注意喚起POPを作成予定

クリアテールランプ装着時の注意点

ランプが点灯した時の色で識別(白カラーランプは黄色に注意！)

赤色リフレクター(後面反射器)が必須 反射部10cm以上のものが必須！

クリアテール (白いリフレクター)

- ・ブレーキランプ…赤色
- ・バックランプ…白色
- ・ウインカーランプ…黄色
- ・ナンバー灯…白色

赤色リフレクターを取り付ける

詳しくは、スタッフまでお問い合わせください

シフトノブをご購入のお客様へ

ご注意ください

マニュアル車のシフトノブを交換する場合、シフトパターンの表示が義務付けられています。商品に印字されていない場合には、別にシフトパターン表示を行うことが必要となります

詳しくは、スタッフまでお問い合わせください

店舗における法令点検チェック表

APARA

APARAコンプライアンスタスク

業界に関係する法令に基づき、「法令点検チェック表」を作成し、法令順守を徹底する。

廃棄物関連タスク

今期の方針:全国優良産業廃棄物企業の情報や、廃タイヤ処理・バッテリーの取り扱いなど、情報交換をする。また実際の業者視察なども行なう。

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	ピットサービス推進部 係長	林 健司
メンバー	株式会社 オートアールズ	店舗建設部 設備グループマネージャー	千吉良 悟史
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	コンプライアンス部 課長	小野 稔
メンバー	株式会社 タクティール	総務部管財室 室長	坂井田 佳聖
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	企画・管理統括本部 調達物流部	宮田 彰二

日程	主な議題	出席者	会場
2012/6/22 (金)	・今期のスケジュールと検討内容	7名	A P A R A事務局
2012/9/12～13	廃棄物処理業者 視察	10名	有限会社長渕商店 有限会社よろづや イエローハット東北物流センター

【2012業者視察レポート作成】

- ・視察日程：平成24年9月12日（水）、13日（木）
- ・視察先：①有限会社 長渕商店（宮城県岩沼市：長渕龍一社長）
②有限会社 よろづや（宮城県角田市：八嶋利悦社長）
③株式会社 イエローハット 東北物流センター
（宮城県黒川郡富谷町：大塚文典副支店長、平山博文主任）
- ・参加者：A P A R A会員企業、事務局メンバー 9名

① 有限会社 長渕商店

<許可の内容>

廃プラスチック類の破碎処理許可（宮城県）と廃プラスチック、金属くず、ガラス等の収集運搬許可（宮城県）の他に古物商許可を取得。

<処理設備の概要>

震災後の津波により大半の処理設備が被災したが、現状は稼働可能な設備により被災自動車のタイヤを中心に破碎処理を行っている。月末に新規設備が導入される予定で従来の処理能力に戻るとのことで問題は解消されるとの説明があった。

<視察の所感>

現状は処理能力を超える被災自動車のタイヤが敷地内に山積みになっているが整理整頓もされており今後設備の追加で解消するものと思える。経営に対する取り組み姿勢にも問題ないと判断した。



許可内容記載の看板



視察風景



長瀬社長とのミーティング

② 有限会社 よろづや

<許可の内容>

廃プラスチック類、金属くず、コンクリート、陶磁器等の破碎処理許可（宮城県）と廃プラスチック類、金属くず、ガラス、コンクリート、陶磁器、木くず、廃油、廃酸の収集運搬許可（宮城県・仙台市）および特別管理廃棄物（廃油、廃酸）の収集運搬許可（宮城県）を取得。

<処理設備の概要>

固定式及び移動式のタイヤ破碎機（6台）、大型金属類のプレス機（2台）、構内運搬用フォークリフト（16台）、収集運搬用トラック（13台）他

<視察の所感>

処理品目並びに処理能力も大きくタイヤについては大型土木用タイヤから一般乗用車用タイヤまであらゆる廃棄ゴム類、金属、プラスチック等を処理できる設備を有している。

経営者の周辺環境に配慮した経営姿勢も良く将来は所有敷地内に太陽光発電設備を設置する計画があるとのことなど経営上問題は無いと判断した。



許可内容記載の看板



視察風景



八嶋社長とのミーティング

※今回の工場視察のまとめミーティングでは同じ品目の処理工場を複数視察することで施設や保管状態、経営者の取り組み姿勢などを比較評価することが出来て良かったとの意見があり来年以降の工場視察もこのような企画で検討したいと思う。

③ 株式会社 イエローハット 東北物流センター

<視察の目的>

店舗や事業所での取得ではなく、物流センターでのISO14001を取得された東北物流センターを視察し取得への取り組みや取得後の課題などについての説明と施設内の視察により今回の参加企業におけるISO取得や業務改善、環境対策等に役立てることを目的に視察を行った。

<視察の所感>

商品の入荷時に発生する梱包資材のリサイクルはもとより無駄のないレイアウト設計、建物内の食堂や事務所、商品倉庫の他駐車場内の清掃備品の保管場所や雨水の活用設備などは会社側の企画だけではなく、従業員による提案事項などが具体的に反映され活用されておりスタッフ全員の環境や効率UPへの意識の高さを強く感じさせた。

また商品倉庫内で勤務される従業員で行われる毎日の朝礼時に環境方針が唱和されていることに感心した。



視察風景 倉庫内①



視察風景 倉庫内②

環境タスク

- 今期の方針:・電力エネルギー削減の事例を交えて勉強会を実施する・環境配慮型商品の取り扱いをPRする・商品パッケージ・下取りについて勉強会を実施する
- ・ユーザーへの告知活動をおこなう

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	人事総務部 総務課	藤本 泰教
メンバー	株式会社 オートアールズ	店舗建設部 グループマネージャー	柳沢 和臣
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	コンプライアンス部 課長	小野 稔
メンバー	株式会社 タクティー	総務部情報発信室 室長	片岡 到
メンバー	ブリヂストンテールジャパン株式会社	チェーン運営本部	橋本 翔一

日程	主な議題	出席者	会場
2012/6/15 (金)	今期のスケジュールと検討内容	6名	A P A R A 事務局
2012/9/27 (木)	エコプロダクツ出展に関して	5名	A P A R A 事務局

【エコプロダクト2012出展企画・12月13日～15日】

A P A R A加盟店が行っている環境への取り組みとして、店舗で取り扱っている「エコ」商品をご来店者にアピールし、業界の取り組みとして提示。



流通効率検討タスク

今期の方針：バーコード、商品パッケージの記載内容、リサイクル等の討議する

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	メンテナンス・アクセサリー商品部 課長	粕谷 英道
メンバー	株式会社 オートアールズ	商品部 バイヤー	吉山 雅章
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	商品企画管理部	佐藤 徳行
メンバー	株式会社 タクティー	ジュームス店舗業務部 室長	由利 剛
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	ホイール企画部長	平島 隆弘

日程	主な議題	出席者	会場
2012/6/8 (金)	今期のスケジュールと検討内容	6名	APARA 事務局

カーライフ提唱タスク

今期の方針：ユーザーに向けて「正しい商品の使い方」等、啓蒙啓発していく。

	会社名	部署・役職	氏名
メンバー	株式会社 イエローハット	メンテナンス・アクセサリー商品部 課長	小出 泰彦
メンバー	株式会社 オートアールズ	販売促進グループマネージャー	秋山 正則
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	カーライフ商品部	田中 寿樹
メンバー	株式会社 タクティー	第4商品部総括室 室長	浅野 智楨
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	カー用品企画部長	湊 玄

日程	主な議題	出席者	会場
2012/5/11 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に「安全なカーライフ」を送って頂く為には、何を啓蒙・啓発すべきか。 ・店舗にお客様がご来店いただけるような、間接的なイベントにコラボレーションしてはどうか。 ・作成物としては、何がよいか ・今後のスケジュール ・タスクリーダーの決定 	9名	APARA 事務局
2012/7/13 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般ユーザーにいかに車に乗っていただくかの検討 	9名	APARA 事務局
2012/11/16 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本カーライフアシスト様との意見交換会 ・自動車メーカーが行っている免許取得前の方や高齢者ドライバーへのPR活動について 	7名	APARA 事務局

防犯タスク

今期の方針: 新たな侵入盗、万引き等の情報・意見交換を行い、万引防止機構とも連携や情報交換を行い、会員社に素早い情報を提案できるスキームを作る。

	会社名	部署・役職	氏名	
メンバー	株式会社 イエローハット	店舗運営部 係長	丹野 雅彦	
メンバー	株式会社 オートアールズ	販売部 マネージャー	神島 篤	
メンバー	株式会社 オートバックスセブン	コンプライアンス部 課長	小野 稔	
メンバー	株式会社 タクティー	経営企画部門・顧問	菅沼 利行	
メンバー	ブリヂストンリテールジャパン株式会社	チェーン運営本部	北川 義彦	
日程	主な議題		出席者	会場
2012/10/12 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間侵入に関する防犯マニュアル ・各企業の防犯対策に関する情報交換 		7名	APARA 事務局

【主な制作物】



軽自動車&コンパクトカー

購入ベストカタログ 2013

新車購入の方に「カー用品店」ってどんなところ？どんな商品があるの？を紹介。



オイル交換の重要性をうたい、事故防止を啓発した。

「オイル交換促進ポスター」



ユーザーの皆さんに洗車を通じて「クルマにふれていただき」

愛車を長く大事にのり、事故の防止を啓発した。

「晴れたら洗車しようよ」ポスター

夏車を守ろう
10月7日は、**盗難防止の日**

車止おろし#
※ここで見てください!

窃盗に取られる対策を!

窃盗防止対策を打たせよう

- ① 車中泊のときは必ずドアを閉めておく。
- ② 車庫に止める場合は必ず鍵をかける。
- ③ カギの両面を壊さず鍵の位置を確認しよう。
- ④ 車庫に止める場合は必ず鍵をかける。

APARA
自動車用品小売業協会

ご相談は、お近くのAPARA加盟店まで。

これで安心な!

オイル交換しようよ!!

エンジン油は、エンジンを動かすために必要不可欠な部品です。エンジン油が不足すると、エンジンが正常に動作できなくなり、エンジンが壊れる原因となります。

エンジン油は、エンジンを動かすために必要不可欠な部品です。エンジン油が不足すると、エンジンが正常に動作できなくなり、エンジンが壊れる原因となります。

APARA
自動車用品小売業協会

ご相談は、お近くのAPARA加盟店まで。

スタッドレスタイヤ
交換しようよ!!

冬に必要なのはスタッドレスタイヤ。安全のための必需品!

スタッドレスタイヤは、冬場の雪や凍りによる滑りや、凍結防止剤によるタイヤの劣化を防ぎ、安全な運転を可能にします。

APARA
自動車用品小売業協会

ご相談は、お近くのAPARA加盟店まで。

ドライブに行かれるみなさんへ

クルマ便利グッズで安心・快適運転!!

ドライブに行くときは、安全・快適な運転が大切です。APARAでは、様々な便利グッズを取り揃えています。

APARA
自動車用品小売業協会

ご相談は、お近くのAPARA加盟店まで。

【全国万引犯罪防止機構・各県警と情報交換および連携】

APARA加盟店舗では「万引犯罪」「夜間侵入」防止の為に情報交換をおこなっている。本年度も「全国万引犯罪防止機構」を通じて官民合同会議にて現状把握と防止策の対応や「埼玉県警」との意見交換会をおこなった。



自動車検査独立行政法人 店舗調査

今期の方針：不正改造防止の一環として取り扱い商品の調査をおこなう

日程	エリア	会社名	店舗名
2012/8/21 (火)	北海道	株式会社 オートボックスセブン	SA SAPPORO
2012/8/27 (月)	広島	株式会社 イエローハット	フォレオ東広島店
		株式会社 タクティー	西条インター店

2012/9/3 (月)	新潟	株式会社 イエローハット 株式会社 オートバックスセブン	長岡 SA NAGAOKA
2012/9/24 (月)	千葉	株式会社 イエローハット 株式会社 タクティー	千葉美浜店 ジェームス美浜店
2012/9/25 (火)	愛媛	株式会社 イエローハット 株式会社 オートバックスセブン	松山 11号ハイパス店 松山北店
2012/10/9 (火)	熊本	株式会社 オートバックスセブン	熊本浜線
2012/10/11 (木)	京都	株式会社 イエローハット 株式会社 オートバックスセブン	五条桂店 SA 京都ワウワングーシティ
2012/10/15 (月)	岐阜	株式会社 イエローハット 株式会社 タクティー	犬山店 ジェームス各務原インター店



【平成24年度AAAL委員会活動】

AAAL コンプライアンス委員会

今期の活動内容: 昨年課題設定された案件についての検討

	所属団体	会社名	氏名
委員長	APARA	(株)イエローハット	岡野 泰士
副委員長	NAPAC	(有)目黒ライニング商会	深澤 広司
委員	APARA	(株)オートバックスセブン	小野 稔
委員	NAPAC	(株)トムス	舘 直樹
委員	NAPAC	トピー実業(株)	泉谷 吉一
委員	JAAMA	ニューレイトン(株)	野木 芳宏
委員	JACA	エステーオート(株)	棚橋 公三
委員	JASMA	藤壺技研工業(株)	藤壺 勇雄

日程	主な議題	出席者	会場
2012/7/17 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス委員会・環境委員会の統合の背景 ・旧コンプライアンス委員会の活動内容について ・旧環境委員会の活動について ・新コンプライアンス委員会の活動テーマの確認と活動計画 	13名	APARA 事務局

	・コンプライアンス委員会内の組織図		
2013/2/25 (月)	・自動車検査法人による勉強会 ・今後のコンプライアンス委員会について意見交換会	12名	A P A R A 事務局

AAAL 活性化委員会

今期の活動内容:製販一体となり、AAAL構成団体の商品を拡販する施策を検討

	所属団体	企業名	氏名
委員長	JAAMA	(株)ナポレックス	伊井 孝雄
副委員長	NAPAC	PIAA(株)	三枝 英治
副委員長	APARA	(株)イエローハット	粕谷 英道
委員	JAAMA	(株)ボンフォーム	矢野 弘行
委員	JAAMA	(株)カーメイト	古川 泰司
委員	NAPAC	(株)タカマコンペティションプロダクト	柴 正雄
委員	NAPAC	(株)カーレック	深澤 広司
委員	APARA	(株)オートボックスセブン	広瀬 幸雅
委員	JACA	エステーオート(株)	棚橋 公三
委員	JACA	エステーオート(株)	菅野 正
委員	JACA	(株)タイホーコーザイ	梶原 康弘
委員	JACA	(株)ソフト99コーポレーション	佐川 博之
委員	JASMA	(株)エッチ・ケー・エス	長谷川 浩之

日程	主な議題	出席者	会場
2012/7/11 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者就任について ・委員会活動について ・分科会について ・海外視察について ・委員長、副委員長について ・議長、書記の指名 ・洗車の日報告(洗車の日分科会より) ・今期の進め方について(分科会について、分科会メンバー選出、活動スケジュール) 	13名	A P A R A 事務局
2012/9/11 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会からの報告と承認 	14名	A P A R A 事務局
2012/12/14 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会からの報告 ・2013年度の海外視察について 	12名	A P A R A 事務局
2013/2/18 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・今期を振り返って ・来期の計画について 	16名	A P A R A 事務局

AAAL 洗車の日分科会

今期の活動内容:

	所属団体	企業名	氏名
委員	APARA	(株)イエローハット	粕谷 英道
委員	APARA	(株)オートバックスセブン	和田 英次朗
委員	APARA	(株)タクティ	仮坂 進
委員	JACA	エステーオート(株)	菅野 正
委員	JACA	(株)タイホーコーザイ	梶原 康弘
委員	JACA	(株)ソフト99コーポレーション	佐川 博之
委員	JAAMA	(株)ボンフォーム	矢野 弘行
委員	JAAMA	(株)カーメイト	古川 泰司

日程	主な議題	出席者	会場
2012/8/7 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの選任 ・分科会リーダーの選任 ・具体的活動内容 ・スケジュール <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・開催案内や議事録などのルール ・2013洗車の日に関するスケジュール ・本年の結果発表に関して 	9名	APARA 事務局
2012/9/11 (火)	・2012洗車の日に関する反省点を踏まえて、2013洗車の日に関する具体的な施策について	10名	APARA 事務局
2012/10/3 (水)	・各団体でアイデアを持ち寄り討議する	10名	APARA 事務局
2012/10/22 (月)	・前回の検討事項の続きを検討する	10名	APARA 事務局
2012/11/21 (水)	・共通販売促進の内容決定	9名	APARA 事務局

AAAL スポーティングパーツ分科会

今期の活動内容:

	所属団体	企業名	氏名
リーダー	NAPAC	(株)カーレック	深澤 広司
委員	JASMA	(株)エッチ・ケー・エス	長谷川 浩之
委員	APARA	(株)オートバックスセブン	広瀬 幸雅

委員	NAPAC	PIAA(株)	三枝 英治
委員	NAPAC	(株)タカマコンペティションプロダクト	柴 正雄

日 程	主な議題	出席者	会 場
2012/8/7 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの選任 ・分科会リーダーの選任 ・今期の具体的活動内容 ・スケジュール ・開催案内、議事録作成についてのルール 	8名	APARA 事務局
2012/9/11 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーティングパーツを広く一般ユーザーに広めるには 	8名	APARA 事務局
2012/12/14 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回からの引き続き事項 	7名	APARA 事務局
2013/2/18 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・NAPAC走行会視察企画について ・カスタマイズ大賞の検討 	8名	APARA 事務局

AAAL 海外視察分科会

今期の活動内容:

	所 属 団 体	企 業 名	氏 名
リーダー	JACA	エステーオート(株)	棚橋 公三
委員	APARA	(株)タクティー	杉山 正司
委員	JAAMA	(株)ナポレックス	伊井 孝雄
委員	JAAMA	(株)ボンフォーム	矢野 弘行
委員	JASMA	(株)エッチ・ケー・エス	長谷川 浩之
委員	NAPAC	PIAA(株)	三枝 英治
委員	NAPAC	(株)タカマコンペティションプロダクト	柴 正雄

日 程	主な議題	出席者	会 場
2012/8/7 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの選任 ・分科会リーダーの選任 ・CASの具体的視察内容 ・SEMAについての視察等の要望 ・ESSENについての視察等の要望 	10名	APARA 事務局
2012/9/11 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ESSEN視察先について 	11名	APARA 事務局

【平成24年度 他団体との連携】

交通安全啓発イベント

日本自動車会議所主催でおこなう「交通安全アクション2012」に今期も参加し、A PARAでは「交通安全約束手形」ブースを担当した。

4月14日、15日の両日、東京・江東区青海の複合アミューズメント施設「パレットタウン」内の「メガウェブ」で、体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2012」を開催し、大勢の家族連れやカップルなどで賑わった。



当日はあいにくの雨模様となったが、参加各団体と一緒に交通安全をアピールした。同イベントでは「ムジコロジー体操」動画コンテンツのトラック運転手役と小学生役出演者も登場。「ゆずりあいの気持ちで交通安全」を訴える「ムジコロジー体操」を披露したほか、東京湾岸警察署と一緒に、自転車に乗る際に気を付けるべきポイントなども紹介した。

『むじころう』『むじこりん』ピーポくんやてんけんくんが登場すると、すぐに子どもたちとの記念撮影が始まるなど、楽しみながら交通安全を体験できるなごやかなイベントとなった。

洗車の日2012

AAAL 主催の第4回「洗車の日」キャンペーン企画は、昨年度の 取組み内容に加えて、店舗にご来店頂くお客様を如何に増やすかに注力し、従来の製販一体に加えそれを広く伝える媒体を強化し、製・販・伝の三位一体で取り組みました。

本年度の取り組みは「洗車を通じて、愛車を大切に乗り、事故防止に努める」事を、テーマに企画し、店頭にて、「洗車教室」を実施いたしました。

また、お客様に洗車用品を身近に感じてもらうために「各店舗工夫を凝らした売り場コンテスト」を実施。

結果、多くのお客様に喜んでいただけたと共に、販売も伸ばすことができました。

【洗車教室】

AAAL加盟の製造メーカー様の協力を得て、4月に洗車教室を開催いたしました。

結果、販売金額は前年比で110.9%の伸びとなりました。



【売り場コンテスト】

お客様に「洗車用品」をわかり易く、提案することを目的に「売り場コンテスト」を実施いたしました。応募総数270店舗のうち、50店舗を入賞（別紙）とし、上位3店舗を優秀店舗として選出いたしました。

- 【最優秀店舗】 : ジェームス広島インター店
 【優秀店舗2店舗】 : ジェームス音更店、
 イエローハット港北店



ジェームス音更店



イエローハット港北店



ジェームス広島インター店

【売場コンテストベスト10店】

- カープロショップあしだ
 イエローハット茂原店
 イエローハット銚子三崎店
 スーパーオートボックスかわさき店
 ジェームス神楽岡店
 ジェームス千波店
 ジェームス守山吉根店



カープロショップあしだ



イエローハット茂原店



イエローハット銚子三崎店



スーパーオートボックスかわさき店



ジェームス神楽岡店



ジェームス千波店



ジェームス守山吉根店

【業界団体としての活動】

不正改造車を排除する運動に参加

国土交通省及び自動車関係33団体で構成する「不正改造防止推進協議会」に参加し、内閣府、警察庁、農林水産省、経済産業省及び環境省の後援並びに自動車検査独立行政法人、軽自動車検査協会の協力のもとに運動を実施する。「不正改造車を排除する運動」は、年間を通じた運動ですが、平成24年6月1日（金）から6月30日（土）までの1ヶ月間を「不正改造車排除強化月間」とし、特に重点をおいて運動を実施いたしました。

加盟企業及び店舗にはポスターを配布し、啓発活動をおこなった。



後席シートベルト着用推進運動に参加



日本自動車会議所では、交通安全事業の重点項目の一つに「後席シートベルト着用推進」を掲げており、交通事故根絶を目指した取り組みの一環として、平成20年から毎年2回、夏季行楽シーズン（足柄SA）と秋の全国交通安全運動期間中（東北自動車道羽生PA）に街頭キャンペーンを行っている。今回は、タイアップによる訴求効果の向上を目指して、静岡県の本キャンペーンに参画するものである。

後席シートベルトの着用は平成20年6月に義務化され、その着用率は徐々に向上してきているが、警察庁とJAF（日本自動車連盟）が毎年実施している「シートベルト着用状況全国調査」

（平成23年10月実施）によると、高速道路における着用率は63.5%と前年に比べて0.2ポイント低下している。また、運転者（99.3%、前年比+0.1ポイント）や助手席同乗者（97.3%、同+0.3ポイント）に比べると非常に低いレベルにとどまっており、後席シートの安全に対する意識は、未だ希薄であると言わざるを得ない状況にある。このため、「後席シートベルトの着用率向上」を図るためには、現場での更なる周知・啓発活動が必要であるとの認識から、APARA加盟店舗にはポスターを配布して、お客様に見える位置に掲示する事で啓発をおこなった。

自動車点検整備推進キャンペーンに参加

国土交通省、自動車関係30団体で構成する「自動車点検整備推進協議会」に参加。自動車は、国民の生活や経済の発展に必要不可欠なものであり、十分に定着した移動手段となっている。一方、大型車の車輪脱落事故や車両火災事故の防止を含む自動車の不具合による事故が発生している。環境面においても、排出ガスによる大気汚染や地球温暖化問題への対応が重要となっている。本来、自動車ユーザーには、自動車の不具合による事故の防止や環境保全を図ることを目的として、自動車の点検・整備の実施が義務付けられている



が、その実施状況は十分ではない。以上のことから、「不正改造車を排除する運動」や「ディーゼルクリーン・キャンペーン」と連携を図りつつ、「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開することにより、自動車ユーザーに適切な点検・整備の実施の必要性を理解してもらおうとともに、大型車のユーザーにあっては、ホイールの取付状態や燃料装置等について、より確実な点検整備の実施を求める。

自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現に向け自動車取得税、自動車重量税、「当分の間の税率」(旧暫定税率)の廃止などを要望

日本自動車会議所様が、このほど、「平成 25 年度 税制改正に関する要望書」を取りまとめ、APARAは加盟企業にポスターを配布して告知展開いたしました。



【2012 海外流通視察セミナー報告】

ラスベガス・ロサンゼルス with SEMA

【参加人数】

AAAL参加企業11企業、事務局を含め21名が参加

【日程】

2012年10月30日から2012年11月5日（7日間）

【視察内容】

- ・2012 SEMA SHOW 視察
- ・ラスベガス流通視察
- ・ロサンゼルス流通視察



【SEMA SHOW 2012レポート】

SEMA ショーは世界で最高の「自動車アフターパーツ&カスタマイズカー」のイベントです。自動車、トラック、およびRV市場で、100カ国以上から10万人以上の業界リーダーを集めています。昨年は各国から5万人以上のバイヤーを招きました。

ディスプレイは、12のセクションに分割し、それらの新製品ショーケースは約1,500、新たに導入された部品、ツール、及びコンポーネントを特色にしました。

また、SEMA ショーは、教育セミナー、製品デモ、特別なイベント、ネットワーキングの機会と詳細と参加者を提供しています。



1、展示の12のセクション

- ・ビジネスサービス
- ・ホットロッドアリー
- ・モバイルエレクトロニクス&テクノロジー
- ・ペイント、ボディ機器
- ・Powersports&ユーティリティ車
- ・レーシング&パフォーマンス



- ・修復市場
- ・モデルチェンジ&カーケアアクセサリ
- ・ツール&機器
- ・トラック、SUV&オフロード
- ・ホイール&アクセサリ
- ・OEM

【ハイライト】

11月2日に閉幕した今年のSEMAショーで、最も目立った車といえば、間違いなくトヨタ「86」(米名：サイオンFR-S)でしょう。会場に多くの86のカスタムカーが登場し、来場者の目をくぎ付けにしました。中でも、先日ご紹介した「86」カスタムデザイン・コンテストの3台にはギャラリーだけでなく、メディアからも注目的でした。

新型「アコード」を9月に北米で発売したばかりのホンダが、来春発売予定の「アコードクーペ HFP パッケージ装着モデル」をSEMAショー2012で発表していました。

2013年にコンパクトクロスオーバー「CX-5」を北米デビューさせるマツダが、「SEMAショー2012」に同車のカスタムモデル3種類を展示しています。

ホンダ・パフォーマンス・ディベロップメント (HPD) は発売当初から期待されていたCR-Zのパワーアップを実現し、そのカスタマイズカーをSEMAショーに出品しました。

【SEMA 2012の概況および意見交換会】

10月31日「2012SEMA SHOW」視察にあたり、主催者側とミーティングをおこないました。

今回の出展社数は過去最大の出展となり米国経済の復旧の兆しをみせていました。

海外企業は全体の10%から20%を占め、国内外の関心の高さと、歴史を感じさせます。

また、米国における「規制緩和」にあたり、過去日本企業の協力を頂いたことに「感謝の意」を表していました。



【米国流通事情セミナー】

11月1日から11月3日の3日間をかけて、米国流通業の変遷を学ぶために、店舗視察をおこないました。実際の店舗を見学するにあたり、「米国在住視察コーディネータ



一・大河内元康」様に研修会を開いて頂きました。

【アメリカ最新流通事情視察 INラスベガス・ロサンゼルス】

1、米国流通の歴史

1) 1940年代から1960年代

国内景気の安定により比較的ゆとりのあるミドル生活が戦後可能
流通業界はミドル層をターゲットに平均的な消費者像特定

2) 1960年代から1970年代

国際競争拡大とインフレ・ミドル層多極化の時期
企業格差により雇用、所得格差が生じはじめる。
GMSが衰退、ディスカウントストアの時代へ

3) 1980年代

結婚してもフルタイムで働く女性が増加
過去のように消費者の平均的層の絞り込みができなくなった。

4) 1990年代から2000年

80年代後半から加速的に進行してきた消費者の多様化
大型ディスカウント専門店業態の増加

5) 2001年以降

企業差別化の時代にはいる。
2008年リーマンショック以降共働きをしなくてはミドルクラスの生活を維持
低価格訴求型小売企業は好調

6) 2011年以降

アメリカの今後のトレンドは大型ストアチェーンを除き、全て小型化予想される。
消費者は個人で商品を選べるようになる。
80/20の崩壊となり、細かな品揃えが要求され、よく売れる商品から、自分にあつた商品を求める傾向となる。
また、競合店との差別化を図る為に、プライベート商品が増加し、トレンドにあつた商品開発が進む。
流通を取り巻く環境としてはSNSが重要な情報発信源となってきた。

2、日本と米国消費者の違い

1) レジにおける接客サービスは、日本はスピードと正確度を求めるが米国は「フレンドリーサービス」を求める。

2) 買い物の習慣として米国は収入に合わせた買い物や店舗を選ぶが、日本はTPOに

よって店舗を選ぶ。

3、アメリカの小売業について

今回の視察では以下の3点を学んだ

- 1) CSを向上させるには、まずESの向上
- 2) お客様側から見た物の考え方
- 3) 接客以外のカスタマーサービス
- 4) お店のクリーンネス・レイアウトの研究

4、今回の視察先

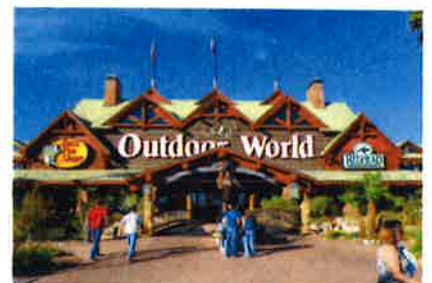
- 1) スーパーマーケット
・ホールフーズ・トレーダージョー・ネバーフードマーケット・
フィッシュ&イージー
- 2) カテゴリーキラー
・バスプロショップ・フライズ
- 3) ディスカウンストア
・ウォールマート・ターゲット・
- 4) ショッピングセンター
・ファッションショーモール・デザートヒルズアウトレット・
ロスセリトスセンター
- 5) 車関係
オートゾーン・ペップボーイズ・セリトス日産
- 6) その他
ベストバイモバイル・99セントオンリーストア・ダラージェネラルマーケット



(ウォールマート)



(オートゾーン)



(アウトドアワールド)

【セリトス日産の見学】

今回は自動車関連施設として、「セリトス日産」の施設見学と意見交換会を実施しました。米国における、ディーラーの役割と、お客様との対応やニーズ、車の販売方法など、施設を見せていただきながら、講義をしていただきました。



【事務局より】

今回の視察ツアーは、単に見学をするだけでなく、最初に講義や説明があり、その上で実際に見学を実施いたしましたので、単なるパッケージツアーでは得られない現地在住の方との意見交換をおこないましたので、普段では得られない情報や生の声が聞けたかと思えます。現在情報がインターネットを通じて容易に取得できますが、それでは得られない情報というのは、やはり実際にお会いしてお話するのが一番良いと実感いたしました。

ヨーロッパ自動車関連視察セミナー

【参加人数】

AAA参加企業18企業、事務局を含め18名が参加

【日程】

2012年12月1日から2012年12月8日（8日間）

【視察内容】

- ・ポルシェミュージアム視察
- ・メルセデスミュージアム視察
- ・エッセンモーターショー見学
- ・オートバックス ROSNY-SOUS-BOIS 店見学
- ・フランスの業界団体 F E D A との会合

【ポルシェミュージアム視察】

巨大な建物の中に、ポルシェの草創期の車から最新の車までが納められています。建物中はゆるやかならせん状になっており、それを登っていくとポルシェの歴史がたどれるようになっています。

館内にはガラス張りになった整備スペースもあり、そこでは数台しか作られなかった貴重な車が修理されている姿などを見ることがもできます。

前回、2009年視察時には工期遅れから改装中で見ることが出来ませんでしたので、以前の建物・規模と比較して非常に大きく立派なミュージアムとして生まれ変わったことを実感

しました。

ポルシェ社の自動車の歩みを時系列に楽しむだけではなく、時計、アクセサリやバッグ類に代表される「ポルシェデザイン」の中でも貴重な作品であるピアノ、家具類やモーターサイクル等も見ることが出来ました。

流石にモータースポーツとの関わりが深いポルシェ社とあって、歴代のレーシングカーの展示ラインナップは圧巻です。



【メルセデスミュージアム視察】

メルセデス・ベンツ・ミュージアムは遺伝子構造のような二重螺旋状の順路をもち、その構造によって単にメルセデス・ベンツの歴史を見せることのみならず、メルセデス・ベンツが自動車の未来を創造していく姿を象徴的に現しています。

ミュージアム見学に要する時間は最低 2 時間で、これによって 120 年にわたる自動車史の旅が経験できます。

来場者は一旦、最上階までエレベーターで上がり、そこから緩やかなスロープの順路に沿って各フロアの展示物を見て行くスタイルが取られている。

また、オーディオガイドの貸し出しにより、日本語での説明を受けることも可能です。

自社製の車だけではなく、自動車の歴史を知ることの出来るミュージアムとして非常に素晴らしい内容となっています。

工業製品としての確かなモノづくりを継続してきたメルセデス社の作品（車）を時間を掛けて堪能することが出来る。

訪問時には、ミッレミリアの特別展示があり、このレースに実際に参戦したマセラッティ、フェラーリ、ランチャといったメーカーの非常に貴重な車達を見ることが出来ました。



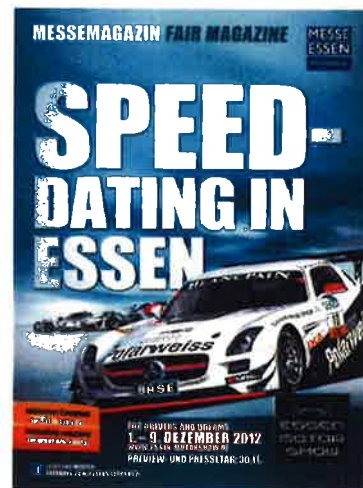
【エッセンモーターショー視察】

1、エッセンモーターショーとは

ドイツ北部の都市ドゥッセルドルフの隣町のエッセンで開催された、エッセンモーターショー2012に行ってきました。

ドイツのフランクフルトショーを日本の東京モーターショーにたとえるならば、このエッセンモーターショーは東京オートサロンに近いショーとなります。

ただし、エッセンモーターショーは若い層からファミリー層、マニア、クラシックカーを探すアッパー層の年配者まで幅広い層を対象にしたブースがあるところが日本との違いです。





ショー会場は大きく4つのカテゴリーに分けています。

- ① 有名チューナーカスタマイズブース。
- ② 自動車メーカーブース。
- ③ アフター部品・用品ブース。このブースでは直売コーナーも有りかなりの人気でした。
- ④ オールドタイマー&クラシックカーブース。

2、ハイライト

AAALのツアーは前回2009年に実施ということで今回は3年ぶりの視察となります。

ESSEN モーターショーは米国のSEMAショー、日本の東京オートサロンと共に世界3大カスタムカーショーに位置づけられるだけあって、会場は11万平米と東京オートサロンの約2倍を誇る。昨年は9日間の会期中に約34万人の来場者が訪れたとのこと。ちなみに会場のあるエッセン市の人口は58万人ということで、その数が如何に大きいものかが理解出来る。とはいうものの、特に平日の更なる来場者のアップを図るため主催者側も色々な工夫を行っており、我々が訪れた日もガールズデイと銘打って女性は入場無料となっていた。

会場内は、以前と比べ特に中国人の来場者が少なく、ブラバス等の一部チューナーズブランドメーカーは大きく立派なブースを構えているものの、全体的には出展メーカー数は減少傾向にあるように感じた。これに対して中国を筆頭に売り上げを伸ばしている自動車メーカーのブースは元気そのもの、この辺りは東京オートサロンにも通ずるものがある。

目だったところでは、以前からTUNE IT SAFEを掲げた合法チューニングPRキャンペーンを展開しているVDADドイツチューニング協会のブースでは、発売間もない新型のメルセデスAクラスのポリスカー仕様を展示。またVW、アウディのチューニングを手掛けるABTでは新型のゴルフVIIを自社仕様に仕上げ展示していた。

日本車関係では、TMG(トヨタ欧州モータースポーツ部門)のブースには、レクサスのLSモデルをベースにチューニングを施した最高出力650馬力、最高速320km/hを誇るスポーツ650コンセプトが展示されており多くの来場者の注目を浴びていた。

なお、今年のSEMAショーで非常に多く展示されていたトヨタ86、スバルBRZに関しては10数台程度の展示と少なめな印象であった。

また、以前よりこのショーのもう一つの顔と言っても良い、クラシックカーや往年のレー

シングカーの販売を手掛ける企業の出展スペースが非常に大きく確保されているのが印象的だったが、今回も同様であった。余談になるがユーロ圏内で好景気なドイツでは、現地ニュースによると80年代くらいのネオクラシックカーが投機の対象として売買されており、実際に数年で3割程度の値上があるとのことだった。

【オートボックスROSNY-SOUS-BOIS店見学】

フランスの人口は約6,337万人、車両の保有台数3,072万台（平均車齢8.8年）、ディーゼル比率が72.4%という市場規模があります。

その中でオートバックフランスは

FC企業も含め11店舗の運営をしており、今回は「オートボックスROSNY-SOUS-BOIS店」の見学と意見交換会を実施致しました。

日本型のカー用品店の形態をとりながらも、整備事業に力をいれており、消耗品を中心とするメンテナンスサービス関連の売上が高い構成比となっております。



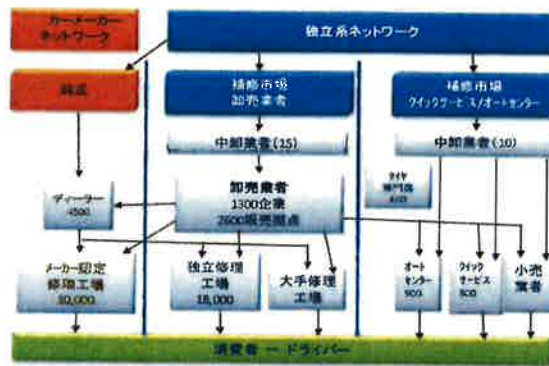
日本のオートボックス店舗の成功事例等を参考にしています。インパクトのあるボリューム陳列や分かり易い価格・目を引くポップ類にレイアウトが印象でした。



【フランスの業界団体FEDAとの会合】

フランスの業界団体FEDA会長・FIGIEFA副会長である、Michel Vilatte氏を招き、フランスにおける業界団体の役割、政府関係との連携や協議について意見交換会をおこないました。

アフターマーケットのシェアは製造としては独立系製造企業が80%、カーメーカー系が20%のシェアを持っており、流通としては独立系製造企業が作った部品を独立系の卸業者に45%、カーメーカー系に55%卸しています。



この独立系企業を取りまとめているのがFEDAであり、FEDAの役割は

1. 修理サービスやマーケットの透明性の向上や
2. EU/地方規制作成者に事業の状況を認識させる。
3. アフターマーケットの自由競争の維持
4. 修理情報へのアクセスを実行可能にする
5. 自由な選択権利をドライバーに知らせる
活動を中心に行っている。

今後、独立系事業者のチャンスとしては、

1. 現在走っている車は車齢がながいので、メンテナンス事業にとっては良い
2. メンテナンス情報などアクセスできる仕組みを構築し、専門店のイメージUPとなる。
3. 保障期間中でも個人事業にいく事を恐れるユーザーがいる為、事業者の質、サービスの向上により、新しいマーケットが生まれる
4. 新技術により専門知識が必要となり、専門店としての役割が増加する。
5. ユーザーとネットをつながる事で今後の市場の発展につながる



以上

平成24年役員について

平成24年度 一般社団法人自動車用品小売業協会

役員一覧

会 長 : 堀 江 康 生

(株式会社イエローハット代表取締役社長)

最高顧問 : 住 野 公 一

(株式会社オートバックスセブン相談役)

副会長 : 鶴 田 誠 一

(株式会社タクティー代表取締役社長)

理 事 : 真 鍋 利 明

(ブリヂストンリテールジャパン株式会社代表取締役社長)

理 事 : 瀬 古 正

(株式会社クラフト代表取締役)

理 事 : 黒 川 泰 弘

(株式会社ヨコハマタイヤジャパン取締役販売促進部長)

理 事 : 橋 口 高 志

(住友ゴム工業株式会社グループタイヤ営業本部消費財部長)

理 事 : 小 原 敏 成

(株式会社トーヨータイヤジャパン営業本部消費財販売部部長)

監 事 : 遠 藤 文 樹

(株式会社フジ・コーポレーション代表取締役社長)

平成24年会員の増減について

報告事項

平成24年度 入退会 企業一覧

正会員	
入会	なし
退会	株式会社 サンジョウ

賛助会員	
入会	大自工業 株式会社 株式会社 レッドアンドイエロー
退会	なし

平成24年3月31日会員数

正会員数 17社

賛助会員数 115社

平成25年3月31日会員数

正会員数 16社

賛助会員数 117社

平成24年決算書について

(損益計算書・貸借対照表)

平成24年度損益計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	前年実績	前年対比差額	予算額	決算額	予算対比差額	備考
I 収入の部						
会費収入(正会員)	15,448,000	-1,805,000	13,688,000	13,643,000	-45,000	
会費収入(賛助会員)	12,000,000	600,000	12,500,000	12,600,000	100,000	
受取利息	3,600	-235	3,600	3,365	-235	
自販機	16,550,388	-2,620,355	12,800,000	13,930,033	1,130,033	
当期収入合計(A)	44,001,988	-3,825,590	38,991,600	40,176,398	1,184,798	
II 支出の部						
外注加工費	5,242,773	4,753,746	3,200,000	9,996,519	-6,796,519	
荷造運賃	261,985	96,398	600,000	358,383	241,617	
会議費	3,886,371	4,146,725	6,550,000	8,033,096	-1,483,096	
旅費交通費	870,490	149,826	350,000	1,020,316	-670,316	
諸会費	220,000	0	220,000	220,000	0	
保険料	6,250	13,100	10,000	19,350	-9,350	
支払報酬料	1,167,083	-947,003	500,000	220,080	279,920	
交際費	281,875	-53,862	250,000	228,013	21,987	
広告宣伝費	2,280,140	785,860	100,000	3,066,000	-2,966,000	
自販機設置手数料	12,494,183	-1,667,757	10,000,000	10,826,426	-826,426	
支払手数料	63,000	-63,000	100,000		100,000	
研修	875,323	-344,343	0	530,980	-530,980	
事業費計(B)	27,649,473	6,869,690	21,880,000	34,519,163	27,649,473	
給料手当	8,076,562	464,052	8,230,000	8,540,614	-310,614	
派遣費用		0			0	
福利厚生費	42,935	-26,570	60,000	16,365	43,635	
旅費交通費	678,895	-30,905	600,000	647,990	-47,990	
通信費	889,395	480,272	1,400,000	1,369,667	30,333	
販売促進費		766,551		766,551	-766,551	
備品消耗品費	678,420	237,394	650,000	915,814	-265,814	
水道光熱費	441,082	58,641	450,000	499,723	-49,723	
新聞図書費	206,558	32,732	200,000	239,290	-39,290	
支払手数料	110,613	417,717	120,000	528,330	-408,330	
地代家賃	4,000,000	-40,000	3,960,000	3,960,000	0	
リース料	17,556	92,694	18,000	110,250	-92,250	
保険料		28,720	0	28,720	-28,720	
租税公課	81,500	-1,400	100,000	80,100	19,900	
支払報酬料	613,750	-38,871	650,000	574,879	75,121	
寄付金	409,588	6,394	400,000	415,982	-15,982	
雑費	521,828	-370,704	273,600	151,124	122,476	
管理費計(C)	16,768,682	2,076,717	17,111,600	18,845,399	16,768,682	
販売管理費(D)	44,418,155	8,946,407	38,991,600	53,364,562	44,418,155	
営業損益(A)-(D)	-416,167			-13,188,164		

平成24年度 貸借対照表

平成25年3月31日まで

科目	前期繰越	当期残高	増減	備考
現金	223,823	376,637	152,814	
普通預金	8,223,529	10,211,311	1,987,782	
現金・預金合計	8,447,352	10,587,948		
貯蔵品	3,200	1,390	-1,810	
棚卸資産合計	3,200	1,390		
前払費用	3,386,418	0	-3,386,418	
未収入金	10,165,094	8,075,835	-2,089,259	
他流動資産合計	13,551,512	8,075,835		
敷金	1,731,432	1,731,432	0	
固定資産	1,731,432	1,731,432		
資産合計	23,733,496	20,396,605		
未払金	3,328,572	13,477,871	10,149,299	
預かり金	9,500	11,474	1,974	
仮受金	300,000	0	-300,000	
流動負債合計	3,638,072	13,489,345		
負債合計	3,638,072	13,489,345	9,851,273	
繰越利益	20,095,424	20,095,424		
当期純損失	0	-13,188,164		
繰越利益剰余金	20,095,424	6,907,260		
純資産合計	20,095,424	6,907,260		
負債・純資産合計	23,733,496	20,396,605		

